

ひまわり



[NOSAI 情報]

N o . 2 0 1 2 0 1
平成 24 年 8 月 13 日 発行
N O S A I 連 宮 崎

今回の主な情報は、「うんしゅうみかん・くり開花状況調査結果及び、ぶどうの生育状況確認」「園芸施設共済の支払状況」「普通期水稻防除情報」です。



うんしゅうみかん開花状況調査
平成 24 年 5 月 1 日 宮崎市高岡町高浜

1 開花状況調査について

NOSA Iでは毎年5月～6月に、うんしゅうみかん・日向夏・くりの開花状況調査及び、ぶどうの生育状況確認を行っています。

うんしゅうみかんでは、1園地に4本の調査樹を選定し、1本の調査樹から5本の枝を無作為に選んでいます。その選んだ枝に着いている有葉花、直花の数をカウントし、宮崎県の開花状況として調査しています。



新葉が付いている。

・有葉花



新葉が付いていない。

・直花

くりでは1園地に5本の調査枝を選定し、その枝の雌花の数をカウントしています。



・ラベルより上部についてカウント



・くりの雌花

※ 8月には、同園地にて開花調査と同じ枝の果実の数をカウントします。

くりについては、開花調査枝の他に3本の調査樹を選定しており、8月の調査では樹体全体の果実の数をカウントします。

2 調査結果

平成24年度 うんしゅうみかん開花状況調査結果（調査日：5月1日～11日）

種別	市町村名	園地数	平成24年産			前年対比 (%)		
			有葉花	直花	計	有葉花	直花	計
極 早 生	宮崎市	5	1,051	14,860	15,911	188	253	247
	日南市	4	427	6,446	6,873	86	107	106
	串間市	1	155	1,971	2,126	50	103	96
	西都市	1	95	1,781	1,876	136	117	118
	日向市	1	39	785	824	25	41	40
	延岡市	1	92	973	1,065	66	117	110
	計	13	1,859	26,816	28,675	107	148	145
早 生	西都市	1	172	1,827	1,999	146	155	154
	門川町	1	68	464	532	57	132	113
	日向市	1	84	563	647	34	48	46
	延岡市	1	129	1,865	1,994	54	188	162
	計	4	453	4,719	5,172	62	128	117
普 通	延岡市	3	504	4,635	5,139	114	195	182
総合計		20	2,816	36,170	38,986	97	150	144

開花状況としては、園地ごとに花の着き方にムラがありました。前年産が裏年であったことを考えると、前年対比144%は花の数としてやや少ないのではないかと、という意見も関係団体から挙がりました。

平成24年度 くり開花状況調査結果（調査日：6月21日～26日）

市町村名	園地数	平成24年産	前年対比 (%)
		雌花数（5枝平均）	
小林市	3	151	143
えびの市	2	155	95
延岡市	2	94	101
美郷町	4	160	133
高千穂町	2	194	194
日之影町	3	208	198
総平均		183	165

くりに関しては全体的に花の着きは多く、総平均で前年対比165%となりました。くりの最大の敵は台風と言っても過言ではありません。今年は台風が襲来しないことを祈るばかりです。

3 ぶどう生育状況確認

くりの開花状況調査にあわせて、五ヶ瀬町にぶどうの生育状況確認に行きました。



ぶどう生育状況確認
平成24年 6月21日 五ヶ瀬町

今年の6月は雨の日が多く、県内各地の月間降水量は平年比153～316%となりました(宮崎地方气象台)。その影響か、灰色カビ病が発生している園地が確認されました。

特に醸造用ぶどうは「シャルドネ」などの欧州系品種での発生が多かったとの報告もあります(宮崎県 営農支援課)。

園芸施設共済の支払い状況

4月3日、低気圧が急速に発展し、沿岸部を中心に大きな被害を与えました。園芸施設共済では下記のとおり、共済金の支払いを行いました。

組合	戸数	棟数	支払共済金(千円)
みやざき	268	376	37,407
都城	20	24	2,298
西諸	10	10	387
北部	14	15	811
県合計	312	425	40,904

今回の被害戸数・被害棟数では、平成22年度1年分(戸数：309戸、棟数：430棟)と同等、自然災害としての支払共済金では平成23年度1年分(38,762千円)を超えるものでした。

また、6月には台風4号、8月の台風10号が接近しましたが、本県への上陸は免れましたが、今後も台風被害に注意が必要です。

普通期水稻の防除情報

宮崎県病害虫防除・肥料検査センターは、平成24年8月3日付けで普通期水稻のトビイロウンカ及びセジロウンカの発生に対し「平成24年度病害虫防除情報第8号」で適切な防除を呼び掛けています。

6011-1334
平成24年8月3日

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成24年度病害虫防除情報第8号

トビイロウンカ及びセジロウンカの発生状況についてお知らせします。
各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

**トビイロウンカとセジロウンカの発生量が多くなっています。
今後の発生状況に注意し、適期防除に努めましょう。**

1. 作物名 普通期水稻

2. 病害虫名 トビイロウンカ、セジロウンカ

3. 発生状況

(1)トビイロウンカ

7月末の巡回調査における発生面積率は30.0%と8年間で2番目に高く、株当たり虫数は0.02頭と8年間で3番目に多い。

6月第6半旬から7月第1半旬にかけてまとまった飛来が確認されており、防除情報第7号で示した防除適期(7月第4~5半旬)後も生息密度は高い状況である。

(2)セジロウンカ

7月末の巡回調査における発生面積率は100%と8年間で1番高い(H18、H19、H22も100%)。20回振りのすくい取り調査では155.48頭と8年間で1番多く、調査地点40ほ場のうち2ほ場で甚発生、4ほ場で多発生となっている。また、飼料用稲の一部ほ場では坪枯れや株の黄化症状が確認されている(別紙:写真を参照)。

7月第1半旬に都城市の予察灯で多飛来が確認されており、防除情報第7号を公表後も生息密度は高い状況である。

4. 防除上の注意

(1)トビイロウンカ

- ア 7月3日に飛来したトビイロウンカの第1世代(飛来次世代)が成虫となり、8月上中旬にかけて第2世代幼虫が出現する。第2世代幼虫の防除適期は8月第3~5半旬と予想されるので、発生状況を確認して防除を行う(別紙:トビイロウンカの発生世代予測を参照)。
- イ 本虫は株元に生息し、低密度であっても、その後の増殖率が高く坪枯れを引き起こすので、薬剤は株元に十分到達するよう散布する。
- ウ 気象的な要因等で無人ヘリ防除や個人防除ができなかったほ場については、ほ場内で株元を確認し、生息密度が高い場合は即時に防除を行う。また、無人ヘリ防除を実施したほ場でも、発生状況に応じて追加防除を行う。
- エ 鹿児島地方気象台が発表した向こう1ヶ月の気温(7月28日~8月27日)は、平年より高い確率40%と予想されていることから、今後世代交代が早まり、短期間で増加するおそれがある。

(2)セジロウンカ

- ア 本虫は南方黒すじ萎縮病(仮称)のウイルスを媒介する。今年の本ウイルスの保毒虫率は低く、発生を確認していないが、本虫の生息密度が高いことから、今後の発生が懸念される。このため、発生が多いほ場では速やかに防除を行うとともに、次回のトビイロウンカの防除適期に併せて防除を行う。
- イ 飼料用稲(インディカ種)においては、本虫に対する抵抗性が低く、本虫の加害による坪枯れも確認されていることから、「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」(平成23年1月)及び「飼料として使用する籾米への農薬の使用について」(平成21年4月20日付け21消安第658号、21生畜第223号関係課長通知、平成23年11月17日一部改正)、「飼料の有害物質の指導基準」(昭和63年10月14日付け63畜B第2050号畜産局長通達、平成24年4月9日一部改正)に沿って、適期防除に努める。

5. その他

- (1) その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局(農業改良普及センター)、総合農業試験場生物環境部、病虫害防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。
- (2) 6月1日から8月31日は、農薬危被害防止運動月間です。農薬散布にあたっては、ラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危被害防止に努めましょう。